

練習問題23 決算修正事項と計算書類の作成 <問題23-①> 精算表を作成する

下の決算修正事項に基づき、次頁の精算表の決算整理仕訳欄を記入し、精算表を完成しなさい。
 決算整理仕訳欄の記入に当たっては、精算表の決算整理欄①～③の記載例のように、記入する金額の頭部に決算修正事項の番号を付しなさい。

なお、期中取引のすべては資金増減取引であり、そのすべてが正しく精算表に記載されているものとします。

番号	決算修正事項
①	期首に備品の除却を行ったが会計処理がもれていることが分かった。なお、除却すべき金額は52である。
②	器具及び備品の減価償却費は150であった。
③	建物の減価償却費は期中取得分を含め、400であった。
④	②③にともない、取り崩すべき国庫補助金等特別積立金は100であった。
⑤	事業未収金残高に対して2%の徴収不能を見積もり、徴収不能引当金残高との差額を追加計上した。
⑥	退職給付引当金44を追加計上した。なお、追加計上するに当たり、費用科目は人件費を使用する。
⑦	期中にいただいた施設整備等寄附金総額を基本金に組み入れた。
⑧	1年以内に支払期限が到来する設備資金借入金残高の内650を流動負債に振り替えた。

精 算 表

摘 要	期首B/S		期中資金増減取引		決算整理仕訳		期末B/S	
	借方 (資産)	貸方 (負債・純資産)	(借方)	(貸方)	(借方)	(貸方)	借方 (資産)	貸方 (負債・純資産)
現金預金	4,000		16,500	15,800				
事業未収金	2,500		18,200	18,000				
短期運営資金借入金		500	100	0				
事業未払金		200	600	700				
支払資金計 (差引支払資金)	6,500	700	35,400	34,500				
		(5,800)	差引支払資金 増加額→	900				()
			資金収支計算書					
			借方 (支出)	貸方 (収入)				
徴収不能引当金		50						
1年以内返済予定 設備資金借入金		500	借入金元金償還支出 500					
(基本財産) 土地	13,000							
(基本財産) 建物	3,500		固定資産取得支出 3,000			③ 400		
(その他の固定資産) 器具及び備品	1,000					① 52 ② 150		
設備資金借入金		2,000	元金償還支出 100	借入金収入 1,500				
退職給付引当金		450						
基本金		18,000						
国庫補助金等 特別積立金		500						
次期繰越活動 増減差額(期首)		1,800						
当 期 活 動 増 減 差 額							差引純資産 増加額 →	
B/S 合計	24,000	24,000						
							P/L	
							借方 (費用)	貸方 (収益)
〇〇事業収益(収入)				18,000				
人件費(支出)			9,400					
事業費(支出)			5,300					
事務費(支出)			1,300					
減価償却費					② 150 ③ 400			
国庫補助金等特別積立金取崩額								
徴収不能引当金繰入								
施設整備等寄附金収益(収入)				1,000				
基本金組入額								
固定資産売却損・処分損					① 52			
収益・費用(収入・支出)小計			19,600	20,500				
当期増減(収支)差額			900	←当期資金 収支差額				←当期活動 増減差額
増減等(収支)合計			20,500	20,500				